第2部

計画内容

第１章　基本理念・方向性と施策の体系
第２章　産業の底力強化
第３章　産業分野別の振興
　１　工業の振興
　２　商業の振興
　３　農業の振興
　４　観光の振興
第４章　計画の推進に向けて

第1章　基本理念・方向性と施策の体系

1　産業振興の基本理念と方向性

本市は都内にありながらも、市民生活に潤いを与える清流多摩川や武蔵野の面影を残す雑木林の緑など四季豊かな自然に恵まれ、住宅地と工業地域がバランス良く配置された職住近接の都市として発展してきました。昭和37年には、首都圏整備法による市街地開発区域の指定を受け、土地区画整理事業による都市基盤整備を進め、工場立地を促進した結果、現在に至るまで技術力の高いものづくり企業が集積。都内でも有数の製造品出荷額等を誇る都市となっています。

こうした企業による経済活動は、これまで市の財政基盤を支え、市民の雇用・就業の場ともなってきました。

しかし昨今の社会経済情勢を見ると、少子化を背景とした人口減少社会が本格的に到来しており、本市においても平成22年９月をピークにして人口が減少傾向により推移しています。

また、グローバル経済の進展により企業間競争が激化しており、市内では、大手製造業が撤退した跡地に、大型商業施設の出店が決まっているなど、産業構造が大きな変化を迎えています。

こうした流動的かつ厳しい社会経済の中にあって、本市の産業がしなやかに力強く今後も発展を遂げ、市民生活の基盤を支えていくために、本計画期間をとおして実効性のある施策を計画的に推進していくことが必要です。

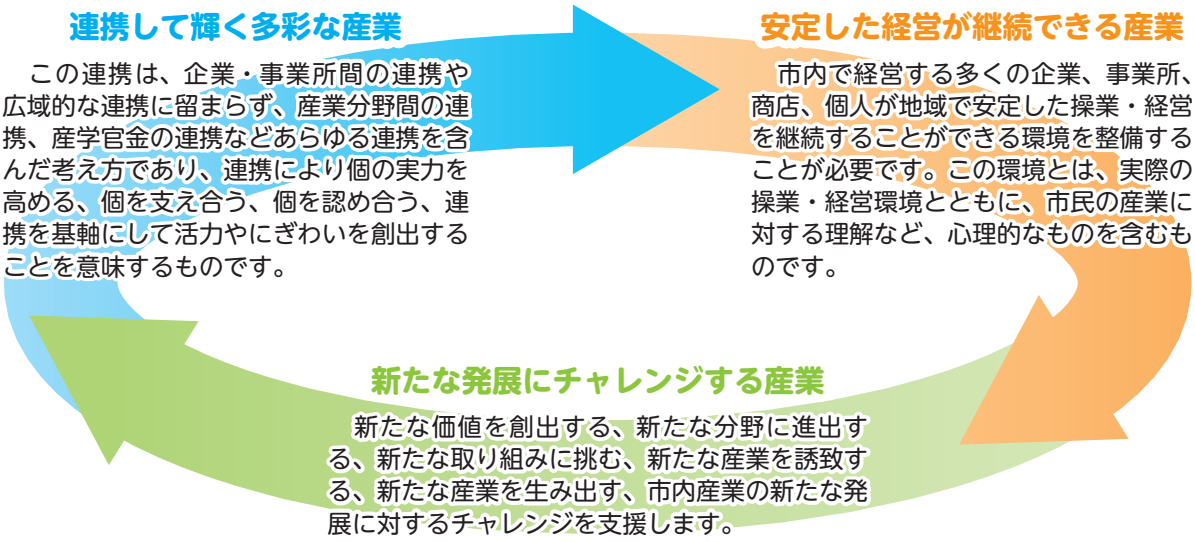
本章では、こうした施策を推進するための基礎となる、「基本理念」と、基本理念に沿って進むべき本市の産業振興の「方向性」について、以下のとおり整理します。

キーワード

連携 ◎ 安定 ◎ チャレンジ

基本理念

本計画においては、「連携」・「安定」・「チャレンジ」の３つのキーワードをもとに、次の３本の柱を、羽村市の産業振興を進めるにあたり基礎とすべき「基本理念」として定めます。企業・事業者、行政、関係機関、関係団体、大学等研究機関、市民等が共通の視点に立ち、この理念のもと、協力、連携して取り組みを進めます。



産業振興の方向性

上記に示した基本理念を踏まえて、本計画において目指す産業振興の方向性については、次のとおりです。

①これまでの市の発展の礎となってきた大手製造業が今後も安定して地域とともに発展をしていくために、その動向やニーズを的確に捉え、ともに連携を果たしていきます。そのためには企業ニーズに沿った土地利用の検討や規制緩和、特区制度などの枠組みの活用も研究し、積極的な対応を図ります。また、造成から半世紀以上が経過する工業団地については、周辺道路や緑地などのインフラを含む機能の充実を図るため、「地域再生法」や「まち・ひと・しごと創生法」など、国の関連する制度も活用した再整備に向けた検討を進め、羽村で操業する意義を新たなものとして創造していきます。

②地域の経済成長を支えるには、市内に、小さな成長の山をたくさん作るということが大切です。この山々は小さくとも付加価値が高く、ニーズに合った少量生産やサービス提供等を行う中小企業・事業者からなる山々です。豊かな市民生活の基盤を支え、地域経済を活性化するための主役となるのは中小企業・事業者です。付加価値が高い元気な中小企業や事業者を育成するとともに、地域内に多様な産業連関構造を構成し、さらにそこから新たな付加価値が創造され競争力が強化される。こうした地域経済の好循環の仕組みを構築することを目指します。

③消費地と直結した市内の農業や地域コミュニティの一端を担う商業は、市民ニーズに沿った付加価値の高い生産やサービス提供を進めることによって、さらなる付加価値が創造されていきます。また、農業、商業、観光など異なる産業分野間の横断的な連携から新たなまちのにぎわいや活力が創出されます。農業、商業については、市民とともに歩み、地域と共存する、持続可能な産業活動の拡大を目指します。

④起業・創業の促進や、「企業誘致促進に関する条例」を活用した幅広い業種の企業・事業所の積極的な誘致などを進め、新たな産業集積を推進するとともに、意欲的な既存企業の新分野進出や第二創業などを支援し、産業に新たな活力を吹き込み、いきいきと活気ある地域産業構造を創出します。

2　産業振興施策の体系

計画の基本理念である、「連携して輝く多彩な産業」・「安定した経営が継続できる産業」・「新たな発展にチャレンジする産業」を踏まえて施策を考察し、体系を整理します。

今後の市内産業の継続的な発展のためには、工業・商業・農業・観光の各産業分野の振興を図ることとともに、産業全体に通じる基盤を整備・充実し、また、それぞれの産業が分野の枠を越えて連携し、市産業全体として底力の強化を図ることが必要です。

こうした考えをもとに、５つに体系を分類し、下図のとおり計画全体の体系を取りまとめます。

まず、産業全体について見通し、各産業分野の連携や全ての産業分野の基盤の整備に繋がるような施策について整理をし、「産業の底力強化」とします。（第２章）

そして、工業・商業・農業・観光の分野ごとに、第１部第２章で見た「各産業の現状と課題」を踏まえ、各分野の振興に係る方向性を整理し、「工業の振興」「商業の振興」「農業の振興」「観光の振興」として施策の体系をまとめます。（第３章）

第2章　産業の底力強化

第1部第1章の「計画策定の趣旨」に示すとおり、本計画は、これまで工業・商業・農業・観光の各産業分野に分けて策定していた計画を、全分野を合わせた一体的な計画に体系づけ、各分野が横断的に連携することによって相乗的な市内産業の発展を目指すことを、計画策定の大きな趣旨と捉えています。

こうした考えを踏まえ、本章では、連携を基軸とした施策の取り組みと、各産業分野に通底する基盤の強化に関する取り組みについて、市産業全体としての底力を強化する観点から取りまとめます。

本章は、今回の産業振興計画を特徴づけるものであり、これまでに個々の産業分野に分けて策定していた計画を一体的な計画とするために、大きな役割を果たすポイントとなります。次章においては、「産業分野別の振興」として、企業や商店、事業者、農業者等への様々な支援制度、市民の産業への理解を深める施策、操業・経営し続けることができる環境整備など、それぞれの産業分野ごとに経営基盤に関わる施策について取りまとめていますが、本章では全産業に通ずるような施策を掲げ、産業全体としての経営基盤の安定化を図ること、また、企業・事業者同士の連携や、農商観光連携等の産業分野を越えた連携、他自治体との連携など、多様な連携を推進し、羽村市の特徴である多彩な産業がより一層輝くことを目指します。そして、こうした連携などを通じての新商品開発、新分野進出、新事業創出等にチャレンジができるような産業振興施策を広く展開していきます。

1　羽村市産業の強み・ポテンシャル

まず、「産業の底力強化」として、羽村市の産業の「底力」について考えます。

市産業の活力ある発展を目指すためには、本市ならではの地域性や特質を踏まえ、そこに立脚した施策を構築する必要があります。こうした地域性や特質の内、市の産業の「強み」や「ポテンシャル」に通ずるものを、本市の「産業の底力」と捉えます。

この「強み」「ポテンシャル」に関しては、関係団体へのヒアリング、アンケート等の調査結果などから抽出をしました。

こうした「強み」や「ポテンシャル」を踏まえた産業振興施策を推進し、これを活かすことによって、市の産業力の強化、底上げを図るよう、関係する取り組みを強化します。

市の地域性・特質	産業としての強み・ポテンシャル
コンパクト・バランスの良さ	コンパクトな市域の中に、工業・商業・農業がバランス良く存在しており、生産・販売・消費の距離が近い。
企業の集積	市内に多くの企業が集積しており、雇用と人口の維持に寄与している。 企業間での連携が発展する可能性を秘めている。
物流交通の利便性が高い	整った幹線道路があり、高速道路へも至近でアクセスも容易である。
職住近接	職住が近接し、働きやすい。昼夜間人口が大きく変わらない。

水	都民の水の源である玉川上水・羽村堰が市内に存在する。 豊富で良質な地下水をもとに市単独で水道事業を実施しており、水道料金が安く、市独自の取り組みが可能である。また、工業用水道も整備されている。
良好な住環境と特徴的な公共施設	川、山が近く、美しい花や豊かな緑があり、自然環境が良い。街の美化活動も活発に行われ、街並みが整然としている。公共施設が高いレベルで整備されており、特徴的な施設として動物公園には年間20万人を超える人が訪れる。
少ない自然災害	全般的に自然災害が少ない地形であり、暮らしの安全性が高いと感じる市民が多い。

2　産業の底力強化の方向性と体系

前段にて整理をしたとおり、コンパクトな市域で産業がバランス良く存在している点や、多くの企業や事業者が集積している点など、本市の産業には、今後多様な連携を一層進めていくための環境が整っており、また、高い物流交通の利便性や豊富で安価な美味しい水、良好な環境や特徴的な公共施設などは、新たな企業の誘致や定住人口を呼び込むために積極的にシティセールスに活用を図るべき強みでもあります。

こうした、市の産業の強みやポテンシャルを活かし、さらにそれらを増していくために、「産業の連携強化」と「産業基盤の整備・充実」の２つの方向性のもとに体系を整理して、施策をまとめます。

■産業の底力強化における方向性■

▪産業の連携強化

工業・商業・農業・観光のそれぞれの産業分野が、それぞれに特色を活かしつつ分野横断的な連携を強化し、市内産業が総合的に発展していくことを目指します。

また、事業者間の連携、産学官金の連携、広域的な連携など、あらゆる連携した取り組みを推進し、連携を基軸にして、相乗的に産業全体の活力やにぎわいの創出、新たな事業や付加価値の創造、体制の強化に繋げていきます。

産業の連携強化

産業分野間の連携イメージ

工業

連携できる要素のある経営資源
- ◆生産・加工技術
- ◆研究・開発力
- ◆消耗品・補修用品など間接材の調達需要
- ◆昼間人口としての従業員の購買力

商業

連携できる要素のある経営資源
- ◆最終ユーザー・消費者への販路・販売力
- ◆飲食・製菓製パン等の調理・加工技術
- ◆消費者ニーズの蓄積

連携

お互いの「技術」や「ノウハウ」など経営資源を持ち寄り、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大、にぎわいの創出などに取り組みます。

観光

連携できる要素のある経営資源
- ◆人の集まる場・イベント
- ◆にぎわい・交流人口
- ◆歴史・文化財・観光資源・市出身著名人

農業

連携できる要素のある経営資源
- ◆新鮮で生産者の顔の見える農産物・花き
- ◆栽培技術
- ◆多面的な機能を有する農地
- ◆農産物直売所

チャレンジ

付加価値の創造
- ●新商品の開発
- ●新サービスの提供
- ●新たなにぎわいの創出

安定

- ◇経営力向上
- ◇新たな市場の創出
- ◇地域の雇用・就業機会の拡大

連携を支える仕組みづくり

- ★農商観連携施設（情報発信、市内農産物・特産品販売）の整備
- ★羽村市版産業振興ファンドの活用
  - ・産業分野間連携補助金の設置
- ★羽村地域産業振興懇談会での情報交換
  - ・工商農観代表者の参画
- ★市組織にシティプロモーション推進担当設置（産業連携・営業を担当）
- ★Buy はむら運動の推進

▪ 産業基盤の整備・充実

市の産業が活性化し、将来に渡り発展するため、ハード・ソフトの両面から産業基盤の整備・充実に努め、事業者にとって良好な事業活動が継続できる環境を整備します。

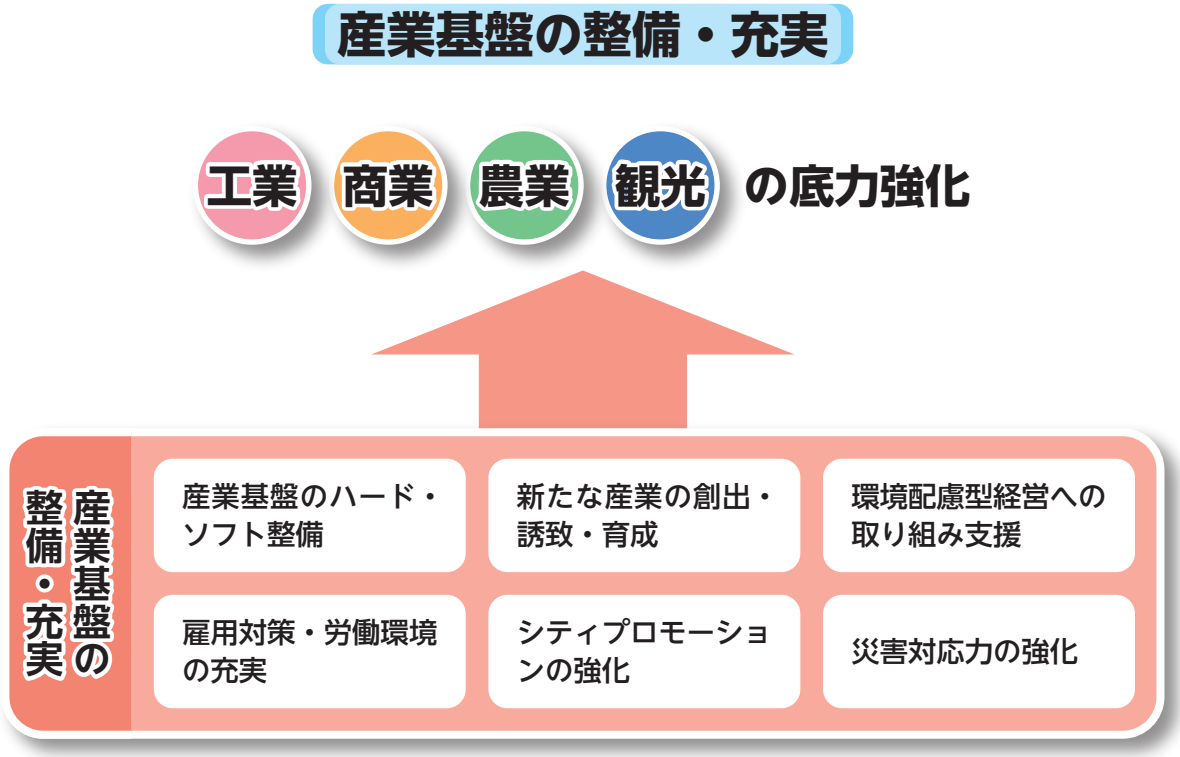
市の産業に新たな活力を吹き込むため、市内における起業や創業を支援する体制を構築し、積極的な支援を進めるとともに、新たな分野への進出や第二創業を目指す意欲的な事業者の支援を進めます。

環境問題が多様化し、市民の関心も高まる中、事業活動の環境への負荷の低減を図り、環境と調和した環境配慮型の事業活動が継続できるための支援に取り組みます。

ハローワークや東京しごとセンターなど国や東京都の関係機関とも緊密に連携し、市内産業における新たな人材の充足を支援するとともに、働く側のキャリア形成や働きやすい環境づくりの支援など、雇用や労働環境の安定を図るための支援を進めます。

市の魅力や市の施策を戦略的に内外に発信し、市の認知度を高めることにより、市内産業の活性化を目指します。

いつ起こるかわからない自然災害などに備えて、事業活動が継続できる体制の構築など危機管理の視点から市内産業の災害対応力の強化を進めます。



◆産業の底力強化の体系

産業の底力強化を図るための方向性と施策、施策の展開について、以下の体系により整理します。

＜方向性＞	＜施策＞	＜施策の展開＞
産業の底力強化		
Ⅰ 産業の連携強化	1 各産業分野間の連携強化	①各産業分野間の交流促進 ②Buy はむら運動の推進 ③連携事業・イベントの推進 ④連携の支援 ⑤シティプロモーション推進担当の設置
	2 事業者間の連携強化	①事業者間の交流促進
	3 産学官金の連携強化	①情報共有の推進 ②連携事業・イベントの推進
	4 広域連携強化	①連携事業・イベントの推進
Ⅱ 産業基盤の整備・充実	1 産業基盤のハード・ソフト整備	①産業福祉センター機能の充実・拡大 ②農商観連携施設の整備 ③都市基盤の整備 ④羽村市版産業振興ファンドの設置 ⑤規制緩和の検討
	2 新たな産業の創出・誘致・育成	①起業・創業支援体制の構築 ②新分野進出支援 ③企業誘致促進に関する条例を活用した企業誘致の推進
	3 環境配慮型経営への取り組み支援	①環境配慮活動の支援
	4 雇用対策・労働環境の充実	①関係機関との連携 ②雇用対策事業の充実 ③キャリア形成支援 ④労働環境の充実 ⑤子育て支援施策の充実
	5 シティプロモーションの強化	①はむらの魅力発信・知名度向上事業の推進 ②羽村の水 PR 事業の充実
	6 災害対応力の強化	①災害時等における事業活動継続体制整備 ②災害時等における企業等の地域貢献推進

方向性Ⅰ　産業の連携強化

産業分野を横断した連携の強化や、事業者間の連携、産学官金の連携、広域的な連携など、あらゆる連携した取り組みを推進し、相乗的に産業全体の活力やにぎわいの創出、新たな事業や付加価値の創造、体制の強化に繋げていきます。

施　　策	1　各産業分野間の連携強化
施策内容	工業・商業・農業・観光の各産業分野間の連携を強化し、産業振興を図ります。
施策の展開	**①各産業分野間の交流促進** 多様な交流機会の提供、マッチング支援、農商工連携等の施策の情報提供、工業・商業・農業・観光の代表者が参画する羽村地域産業振興懇談会での情報交換等により、各産業分野間の交流を促進し、連携の機運を高めます。 **②Buyはむら運動の推進** 企業活動において必要となる工具や消耗品、補修用品などの間接材や、飲食店における野菜などの原材料、また市民の日用品など、あらゆる市内で調達ができるものは市内で購買が進むよう、「Buyはむら（市内で買おう）運動」を進めます。また、企業連絡会議・交流会などを通じて、企業における調達が市内で活発に行われるような取り組みを研究します。 **③連携事業・イベントの推進** 各産業分野間で連携して行う事業やイベントの実施を推進します。 **④連携の支援** 羽村市版産業振興ファンドを活用した産業分野間連携補助金の設置を検討するなどし、各産業分野間の連携を支援する体制を整えます。 **⑤シティプロモーション推進担当の設置** 市内の各産業の連携強化を推進するとともに、市と市の産業の魅力を内外に積極的に発信、セールスを推進するため、市組織にシティプロモーション推進担当（産業連携・営業等を担当）部署の設置を検討します。

施　　策	2　事業者間の連携強化
施策内容	事業者同士が共同で研究・開発、販路開拓、受注、事業の実施等を行えるよう、事業者間の交流促進・連携強化を図ります。
施策の展開	**①事業者間の交流促進** 事業者間の交流会の実施等により、事業者同士のつながり、新たな協力関係が生まれるような交流促進を図ります。

施　　策	3　産学官金の連携強化
施策内容	地域に密着した金融機関や産業支援機関、大学等との連携をさらに強化し、支援機能・コーディネート機能等の向上を図り、産業振興を推進します。
施策の展開	**①情報共有の推進** 産学官金間の情報共有を進め、産業の現状・課題等の共通認識をするとともに、連携体制の充実・強化を図ります。 **②連携事業・イベントの推進** 産学官金で連携して実施する事業やイベントを推進します。

施　　策	4　広域連携強化
施策内容	近隣市町村や姉妹都市等と連携し、市域を越えた広域的な産業振興に取り組んでいきます。
施策の展開	**①連携事業・イベントの推進** 市域の枠を越え、広域で連携して実施する事業やイベントについて推進を図ります。また、姉妹都市である北杜市との連携をもとにした「羽～杜プロジェクト」事業を推進します。

方向性Ⅱ　産業基盤の整備・充実

事業者が良好に事業活動を継続できるよう、ハード・ソフト両面の整備のほか、雇用対策・労働環境の充実、災害対応力の強化などに努め、産業基盤の整備・充実を図ります。

施　　策	1　産業基盤のハード・ソフト整備
施策内容	産業全般の底上げに通じるハード・ソフト両面からの基盤整備を推進します。
施策の展開	**①産業福祉センター機能の充実・拡大** 市内産業振興の中核的な拠点となる施設として産業福祉センターの再整備を検討し、機能の充実・拡大を図ります。 **②農商観連携施設の整備** 市内の農産物や名産・特産品を販売し、合わせて市の地域資源、観光情報の発信を行う「道の駅」的機能を有する施設の整備について検討します。 **③都市基盤の整備** 市内産業の振興に繋がる都市基盤の整備を推進します。 ・羽村駅西口土地区画整理事業 ・市役所通り整備 ・羽村駅自由通路拡幅 ・市道のバリアフリー化 ・栄町三丁目西部地区まちづくり計画 ・市コミュニティバスはむらんの運行充実 **④羽村市版産業振興ファンドの設置** 産業振興施策を市の財政状況や景気の変動などの影響によらず、安定的に進めるために、産業の振興を特定目的とする基金（羽村市版産業振興ファンド）の設置について検討します。 **⑤規制緩和の検討** 産業全般に係る各種規制を検証し、市内産業の発展に結びつく緩和策などについて検討します。

施　　策	2　新たな産業の創出・誘致・育成
施策内容	起業・創業、新たな事業展開や産業の芽の創出・育成の支援を推進します。
施策の展開	**①起業・創業支援体制の構築** 創業支援コーディネータを設置するとともに、「創業支援事業計画」を策定し、民間の創業支援事業者と連携して起業・創業支援体制を整え、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催等の起業・創業支援を実施します。 **②新分野進出支援** 事業転換や多角化により新たな事業分野に進出する事業者を支援します。 **③企業誘致促進に関する条例を活用した企業誘致の推進**

	企業誘致促進に関する条例による諸制度を活用した幅広い業種の企業・事業所の誘致を推進します。

施　　策	**3　環境配慮型経営への取り組み支援**
施策内容	環境問題の多様化に対応した事業所等の環境配慮型経営の取り組みを支援します。
施策の展開	**①環境配慮活動の支援** 各種規制や規格に対応した環境配慮型の活動を支援します。

施　　策	**4　雇用対策・労働環境の充実**
施策内容	市の産業の継続的な発展のため、働く人々の環境が向上するよう、各関係機関と連携し、雇用対策・労働環境の充実を図ります。
施策の展開	**①関係機関との連携** ハローワーク等の関係機関との連携をより一層強化し、就労支援等を進めます。 **②雇用対策事業の充実** 各種セミナーや説明会、就職面接会などの雇用対策事業の充実を図ります。 **③キャリア形成支援** 職業ガイダンス、就職セミナー、就業体験等の実施により、労働者のキャリア形成を支援します。 **④労働環境の充実** 労働者の仕事と生活の調和を促進するため、ワークライフバランスの趣旨普及を進めます。また、労働者が働きやすい環境づくりを進めるため、専門家による相談体制を整備します。 **⑤子育て支援施策の充実** 働く世代が定住し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えていくため、子育て支援施策の充実に努めます。

施　　策	**5　シティプロモーションの強化**
施策内容	シティプロモーションを強化し、市の魅力や市の施策を戦略的に広報して、市の認知度を高めるとともに、市内産業の活性化を目指します。
施策の展開	**①はむらの魅力発信・知名度向上事業の推進** テレビ、新聞、各種情報誌など様々なメディアの活用や、公式キャラクター・市出身著名人の活用、観光・産業資源をバーチャルリアリティで紹介するシステムの導入や観光サポーターの育成等により、羽村市の効果的なPRを推進します。 **②羽村の水PR事業の充実** 都民の水の源である玉川上水・羽村堰が市内に存在し、清澄で豊富な地下水を利用した独自の安全・安心な上水道事業や低廉で良質な工業用水道事業を展開する羽村市として、水の保全に関する宣言を行うなど、「羽村の水」の積極的なPRに取り組みます。 家庭においては、安価で安全、美味しく、産業においては工業用水道が整備されている点など、羽村の水道の優れた面について戦略的に内外に発信していきます。

施　　策	**6　災害対応力の強化**
施策内容	市内産業の災害対応力の強化を図ります。
施策の展開	**①災害時等における事業活動継続体制整備** 事業所等の事業継続計画（BCP）の策定支援など、災害時等に事業活動が継続できるよう体制整備を図ります。 **②災害時等における企業等の地域貢献推進** 災害時における食料や生活必需品等の物資の確保などについて、地域の企業や商店会等との連携体制を構築します。